ふりがな　おくだ　ひでのぶ

氏 名　**奥田 英信**

1. 学歴

1980 年　3 月　一橋大学経済学部卒業
1980 年　4 月　一橋大学大学院経済学研究科修士課程入学
1982 年　3 月　同修了
1982 年　9 月　ミネソタ大学大学院経済学科博士課程入学
1989 年 12 月　同修了（Ph. D. in Economics）

2. 職歴・研究歴

1989 年　4 月　日本輸出入銀行（1991 年 3 月まで）
1991 年　4 月　一橋大学経済学部専任講師（1994 年 3 月まで）
1991 年　4 月　日本輸出入銀行海外投資研究所客員研究員（1999 年 3 月まで）
1994 年　4 月　一橋大学経済学部助教授（1999 年 12 月まで）
2000 年　1 月　一橋大学大学院経済学研究科教授
2002 年 10 月　フィリピン開発研究所訪問研究員（2003 年 3 月まで）
2000 年　4 月　一橋大学経済研究所経済制度研究センター教授（2008 年 3 月まで兼担）
2000 年　4 月　国際協力銀行開発金融研究所客員研究員（2008 年 9 月まで）
2002 年　4 月　一橋大学国際共同研究センター教授（2003 年 3 月まで兼担）
2012 年　4 月　中央大学研究所客員研究員（2014 年 3 月まで）

3. 学内教育活動

A. 担当講義名

（a）学部学生向け

経済学入門，基礎ゼミ，基礎講義，開発経済学，経済政策，比較経済史

（b）大学院

国際経済開発論Ⅰ，国際経済開発論Ⅱ，比較経済史

B. ゼミナール

学部後期，大学院

C. 講義およびゼミナールの指導方針

学部講義「開発経済学（開発金融）」は，途上国開発に係わる金融問題に焦点を当てた内容である。大学院講義「国際経済開発論Ⅰ」「国際経済開発論Ⅱ」では，新興経済の金融研究に関する最近の研究動向の紹介を行う。「比較経済史」では，新制度派経済学のアプローチに基づく比較歴史制度分析を解説する。学部･大学院ともに教場試験を実施して公平な成績評価に努めている。

学部ゼミナールでは，論理的思考能力を鍛えることを目指している。3 年次に開発経済学と金融論のテキスト

を輪読し，4 年次には「仮説設定とその検証」という意識を明確にした卒業論文を作成する。

大学院ゼミナールは，学術論文の作成を指導する。修士論文の指導では基礎力を養うことを重視している。博士論文の指導では，ワークショップとの連携を図りつつ，専門学術誌に掲載可能な論文を目標としている。また海外での共同調査に学生が参加できる機会を積極的に提供している。

4. 主な研究テーマ

(1)ASEAN 諸国の経済発展と金融システム

経済発展に金融が果たす役割について，東南アジア各国の事例研究が『ASEAN の金融システム』東洋経済新報社(2000)，『アジアの経済発展と金融システム(東南アジア編)』東洋経済新報社(2008)などに纏められている。また，『入門開発金融』日本評論社(1998)，『新版：開発金融論』日本評論社(2010)は，それらの研究者・実務家向け解説本である。

(2)ASEAN 諸国の銀行業

ASEAN 銀行業の経営特性を明らかにし，グローバル化した世界経済における途上国金融部門の市場構造について政策的な検討を加えることを目的として，タイ，マレーシア，カンボジアの実証研究を学会誌に発表してきた。

(3)ASEAN 諸国の企業金融と投資行動

ASEAN 諸国における企業の金融活動について，途上国特有の金融行動の特徴を検討し，政策課題を明らかにすることを目的としている。ベトナムの実証研究を学会誌に発表してきた。

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

『入門開発金融—理論と政策—』(共編著)日本評論社，1998 年 2 月，258 頁。

『ASEAN の金融システム：直接投資と開発金融』(単著)東洋経済新報社，2000 年 6 月，312 頁。

『開発金融論』(共著)日本評論社，2006 年 3 月，3-82 頁。

『アジアの経済発展と金融システム(東南アジア編)』(共編著)東洋経済新報社，2008 年 4 月，322 頁。

『新版：開発金融論』(共著)日本評論社，2010 年 6 月，251 頁。

(b) 論文(査読つき論文には*)

「通貨代替下の為替レートの決定」『一橋研究』7 巻 3 号，1982 年，130-139 頁。

* "Financial Factors in Economic Development: A Case Study of the Financial Liberalization Policy in the Philippines," *The Developing Economies*, Vol. 28 (No. 3), September 1990, pp. 240-270.

「1980 年代のフィリピンの金融自由化政策の評価」『一橋論叢』107 巻 6 号，1992 年，818-833 頁。

「日本型ツー・ステップ・ローン：世銀アプローチと日本アプローチ」山澤逸平・平田章編『金融危機と金融規制』(研究双書 No. 422)，アジア経済研究所，1992 年 9 月，85-105 頁。

"Demand for Financial Assets in the Philippines in the 1980s: The Impact of Liberalization to Date and Future Issues," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 33 (No. 2), December 1992, pp. 183-195.

"The Changing Pattern of International Capital Flows in NIEs and ASEAN Countries," 『フィナンシャル・レビュー』大蔵省財政金融研究所，第 29 号，1993 年 6 月，18-45 頁。

"Japanese Two Step Loans : The Japanese Approach to Development Finance," *Hitotsubashi Journal of*

Economics, Vol. 34 (No. 1),1993, pp. 67-85.

*「金融自由化政策と経済発展—フィリピンとタイの比較研究—」『アジア経済』第 34 巻（第 6 号），1993 年 6 月，2-20 頁。

「NIEs・ASEAN 諸国の CPC 型経済発展と国際間資金移動」『一橋大学研究年報．経済学研究』34 巻，1993 年，31-64 頁。

「途上国の金融自由化政策と政策金融：フィリピンの事例研究」『一橋論叢』110 巻 6 号，1993 年，895-911 頁 。

"Inflation Tax and Capital Flight in An Overlapping Generations Model," *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 34 (No. 2), December 1993, pp. 165-176.

「日本型ツー・ステップ・ローンの経済分析（1）：セラード潅漑事業の事例研究」『一橋論叢』112 巻 6 号，1994 年，1056-1068 頁。

"The Role of Financial Reform in the FDI-led-Industrialization : Lessons from Thai Model of Financial Derelopment,"*Journal of Reseanch Institute for International Investment and Development* Vol. 21 (No. 3), 1995.

「日本型ツー・ステップ・ローンの経済分析（2）：セラード潅漑事業の事例研究」『一橋論叢』113 巻 6 号，1995 年，779-790 頁。

*「金融：東南アジアの金融的発展」『アジア経済』第 36 巻（第 8 号），1995 年 8 月，53-63 頁。

"The Operational Structure and Efficiency of The Philippine Domestic Banks : A Microeconocnic Investigation,"*Journal of Research Institute For International Investment and Development*, Vol. 22 (No.10), 1996.

"The Role of Financial Sector in the FDI-led Industrialization -The Analytical Framework of ASEAN Type Financial Development-,"*The Hitotsubashi Review*, Vol. 118 (No.6), 1997, pp. 60-76.

*「タイの金融自由化過程における銀行業の生産・費用構造の変化」（三重野文晴との共同論文）『アジア経済』第 38 巻（第 6 号），1997 年 6 月，2-25 頁。

「フィリピン—銀行部門の経営危機とその処理プロセス—」渡辺慎一編『金融危機と金融規制』（研究双書 No. 485），アジア経済研究所，1998 年 3 月，139-177 頁。

"The Role of Domestic Banks in the FDI-led Industrialization -A Case Study of Philippine Commercial Banks-," *EXIM Review* , Vol. 18 (No. 2), 1998.

"Production and Cost Structure of Indonesian Commercial Banks in the 1992-96 period -An Analysis of their Business operations Before Asian Crisis-,"*Journal of Research Institute for International Investment and Development*, Vol. 25 (No. 2), 1999, pp. 57-91.

「「現代の開発金融」入門」『一橋論叢』121 巻 4 号，1999 年，517-533 頁。

"ASEAN Banking Industry in the FDI-led Industrialization -Financial Liberalization Policy and Banking Industry-,"*The Hitotsubashi Review* , Vol. 121 (No. 6), 1999, pp. 17-39.

"What Happened to Thai Commercial Banks in the Pre-Asian Crisis Period: Microeconomic Analysis of Thai Banking Industry," (joint paper with Fumiharu Mieno) *Hitotsubashi Journal of Economics*, Vol. 40 (No. 2), December 1999, pp. 97-122.

"Today's Problems in Development Financing and Japan's Financial Assistance for Economic Development : Aiming at Knowledge-based-type Assistance," *Kokusai Kyoryoku Kenkyu*, Vol. 16 (No. 2), 2000, pp. 1-8.

「フィリピン金融自由化政策の 20 年」つる見誠良編『アジアの金融危機とシステム改革』法政大学出版局，2000

年 9 月, 283-316 頁。

「ASEAN の持続的経済成長と金融改革」浦田秀次郎・小浜裕久編『東アジアの持続的経済発展』勁草書房, 2001 年, 283-316 頁。

"The Production Technology of Philippine Domestic Commercial Banks in the Pre-Asian Crisis Period: Estimation of Cost Function in the Period of 1990-1996, " (joint paper with Jun Saito) , *Hitotsubashi Journal of Economics* Vol. 42 (No.2), 2001, pp.81-102.

「東南アジアの金融システムと改革の方向性」『国際問題』 国際問題研究所 No.506, 2002 年, 37-51 頁。

「「外国銀行の進出と途上国の経済発展」を考える」『一橋論叢』 129 巻 4 号, 2003 年, 361-381 頁 。

* 「マレーシア商業銀行の確率的費用関数の推計と銀行再編への政策的なインプリケーション」(橋本英俊・村上美智子との共同論文)『アジア経済』第 44 巻, 2003 年 9 月, 2-20 頁。

「エージェンシー・コスト・アプローチによるフィリピン企業の資金調達構造の分析」」(齋藤純との共同論文)『開発金融研究所報』 国際協力銀行開発金融研究所 16 号, 2003 年, 111-133 頁。

「フィリピン製造業のコーポレート・ガバナンスと負債の役割:企業属性による違いとアジア危機の影響の検証」(齋藤純との共同論文)寺西重郎・花崎編著『コーポレート・ガバナンスの経済学』東京大学出版会, 2003 年 10 月, 369-396 頁。

「外国銀行の進出と途上国の経済発展:アジア研究に向けた論点整理の試み」国宗浩三・久保公二編『グローバル化と途上国の金融問題』(研究双書 No. 536), アジア経済研究所, 2004 年 1 月, 137-165 頁。

「外国銀行の進出とタイ銀行業への影響:アンケート調査結果と経営指標の分析」『開発金融研究所報』 国際協力銀行開発金融研究所 19 号, 2004 年, 52-80 頁。

「東南アジアの金融発展:開発金融パラダイムの変化と多様性」(三重野文晴との共同論文), 『国際協力論集』 神戸大学大学院国際協力研究科 12 巻 1 号, 2004 年, 57-84 頁。

* "Estimation of Cost Functions of Malaysian Commercial Banks: The Differential Effects of Size, Location, and Ownership," (joint paper with Hidetoshi Hashimoto) *The Asian Economic Journal*, Vol. 18 (No. 3), September 2004, pp. 233-260.

「発展中国家開発金融系統和外国銀行的作用」楊棟梁主編 『東亜区域経済合作的現状與課題』 天津:天津人民出版社 , 2004 年, 241-256 頁。

"Economic Reforms and Financing Structure of Indonesian Listed Companies after the Asian Crisis: Corporate Finance Issues and the Solutions" (joint paper with Yasushi Take) *JBIC Review* (Japan Bank for International Cooperation) (No. 12), 2005, pp.1-31.

「アジア危機後の経済改革とインドネシア上場企業の資金調達構造」(竹康至との共同論文)『開発金融研究所報』 国際協力銀行開発金融研究所, 2005 年, 109-135 頁。

* "Comparative Cost Study of Foreign and Thai Domestic Banks 1990-2002: Estimating Cost Functions of the Thai Banking Industry," (joint paper with Suvadee Rungsomboon) *Journal of Asian Economics*, Vol. 17 (No. 4), August 2006, pp. 714-737.

「外国銀行の進出と ASEAN 銀行業への影響:タイ実証研究の示唆するもの」(スワディ・ルンソンブーンとの共同論文)伊藤隆敏・財務省財政総合研究所編著『中国の台頭と東アジアの金融市場』日本評論社, 2006 年 6 月, 103-119 頁。

* "The Effects of Foreign Bank Entry on Thai Banking Markets: Estimation Analysis over the Period of 1990-2002," (joint paper with Suvadee Rungsomboon) *Review of Pacific Basin Financial Markets and Policies*, Vol. 10 (No. 1), March 2007, pp. 101-126.

「東南アジア諸国の債券市場整備の前提条件について—途上国における社債の役割と可能性—」『国際協力研究』Vol. 23 (No. 2), 2007 年 10 月, 62-70 頁。

「フィリピンにおけるビジネスグループ企業の資金調達の特徴 ： 上場企業の資本構造の推計」（竹康至との共同論文）『一橋経済学』, 5 巻 2 号, 2012 年 1 月, 101-128 頁。

「アジア諸国のソブリン債市場 ： 現状と課題」『証券経済学会年報』, 第 47 号, 2012 年 7 月, 96-101 頁。

* "Capital Structure and Investment Behavior of Listed Companies in Vietnam: An Estimation of the Influence of Government Ownership," (joint paper with Lai Thi Phuong Nhung) *International Journal of Business and Information*, Vol. 7 (No. 2), December 2012, pp. 137-164.

「カンボジア主要金融機関の経営特性：DEA による効率性と技術変化の分析」（チア・ポーレンとの共同論文）『一橋経済学』, 7 巻 1 号, 2013 年 7 月, 101-117 頁。

「東南アジア主要銀行の経営効率と技術進歩の DEA 分析：2004 年から 2010 年まで」『企業研究』23 号, 中央大学, 2013 年 8 月, 67-88 頁.

「カンボジアのドル化と経済発展」岸真清・黒田巌・御船洋編著『グローバル下の地域金融』（中央大学企業研究所研究叢書 35）中央大学出版部, 2014 年 3 月, 305-346 頁。

* 「国家所有がベトナム企業の資本構造と収益性に与える影響」（ライ・ティ・フーン・ニュンと共著）『アジア研究』, 59 巻, 1・2 合併号, 2014 年 6 月, 96-101 頁。

* "Operational Efficiency and Productivity Change of Major Cambodian Fianncial Insitutions during the 2006-2011 Period," (joint paper with Chea Poleng and Daiju Aiba) *International Journal of Business and Information*, Vol. 9 (No. 3), September 2014, pp. 335-360.

* "Effects of state ownership on companies' capital structure and profitability: Estimation analysis before and after the Lehman shock, " (joint paper with Lai Thi Phuong Nhung) *Journal of Asian Economics*, Vol. 38 (No. 1), June 2015, pp. 64-78.

* "Determionats of Operational Efficiency and Total Factor Productivity Change of Major Cambodian Financial Institutions: A Data Envelopment Analysis during the 2006-2013, " (joint paper with Daiju Aiba), *Emerging Markets Finance and Trade*, 52, June 2016, pp. 1455-1471.

（c）翻訳

ポール・P・ストリーテン「発展途上国に対する産業調整のインプリケーション」山澤逸平・平田章編『先進諸国の産業調整と発展途上国』（研究双書 No.410）, アジア経済研究所, 1991 年, 226-245 頁。

（d）その他

「東南アジア主要銀行の経営効率の変化と外資系銀行の特徴」, 金融調査研究会『アジア経済圏における金融・資本市場の発展に向けた課題とわが国金融機関が果たすべき役割』, 全国銀行協会, 2012 年 9 月, 27-50 頁。

「東南アジア主要銀行の経営効率：邦銀を含む外資系銀行の特徴」, 金融調査研究会『環太平洋ビジネス情報誌 RIM』, 日本総合研究所, Vol.13, No.49, 2013 年 5 月, 1-20 頁。

"Operational Efficiency and TFP Change of Major Cambodian Financial Institutions: A Data Envelopment Analysis during the 2006-2011 Period," (joint paper with Chea Poleng, and Daiju Aiba), *Discussion Paper* No.2014-02, January, 2014

"Determinants of Operational Efficiency and Total Factor Productivity Change of Major Cambodian Financial Institutions: A Data Envelopment Analysis during the Period of 2006-2013," (joint paper with Daiju Aiba), *Discussion Paper* No.2014-14, November, 2014

「カンボジアのドル化：主要論点と政策展望」『一橋経済学』, 8 巻 1 号, 2015 年 1 月, 1-26 頁。

"Management Characteristics of Cambodian Microfinance Institutions: Operational Efficiency and Management Objectives," (joint paper with Shi Minjie), *Discussion Paper* No.2016-03, March, 2016

「カンボジアとフィリピンのマイクロ金融機関の経営特性―DEAによる経営効率性の計測とその主成分分析―」,（姚一鳴, 外山雄介との共著）*Discussion Paper* No.2016-06, 2016 年 7 月。

「ドル化経済における企業の資金調達：カンボジアの事例」,（相場大樹との共著）*Discussion Paper* No.2016-08, 2016年10月。

B. 最近の研究活動

（a）国内外学会発表（基調報告・招待講演には*）

「東南アジア就業銀行の経営効率と外資系銀行の特徴」（竹康至と共同論文）日本金融学会（北九州市立大学, 2012年9月15日）

「カンボジア主要銀行の経営特性：DEAによる効率性と技術変化の分析」（チア・ポーレンとの共同論文）, アジア政経学会（関西学院大学, 2012年10月14日）

"Impact of Leverage on Investment and Growth of State-controlled Companies in Vietnam, " (joint paper with Lai Thi Phuong Nhung), The 13th International Convention of the East Asian Economic Association, Singapore, October19, 2012.

「カンボジア銀行業の効率性の決定要因:2段階DEAによる効率性の計測」（相場大樹と共同論文）日本金融学会（名古屋大学, 2013年9月21日）

「カンボジア経済のドル化と銀行経営：制度分析的アプローチ」アジア政経学会（大阪市立大学, 2013年11月9日）

"Operational Efficiency and TFP Change of Major Cambodian Financial Institutions: A Data Envelopment Analysis during the 2006-2011 Period," (joint paper with Chea Poleng, and Daiju Aiba), 2014 International Conference on Business and Information, Osaka,July 5, 2014

"Determinants of Efficiency of Cambodian Commercial Banks: A New Technique of Bootstrapping Estimation Using Data Envelopment Analysi, " (joint paper with Daiju Aiba), The 14th International Convention of the East Asian Economic Association, Bangkok, November 2, 2014.

「カンボジアにおけるマイクロ金融機関の経営特性：経営効率性の計測と主成分分析」（史敏傑と共同論文）アジア政経学会（立教大学, 2015年6月14日）

「カンボジアとフィリピンのマイクロ金融機関の経営特性：DEAによる経営効率性の計測と主成分分析」（姚一鳴, 外山雄介と共同論文）アジア政経学会（立命館大学, 2015年6月14日）

「カンボジア商業銀行の経営効率性：確率的フロンティア分析」（相場大樹と共同論文）日本金融学会（関西大学, 2015年10月15日）

「ドル化経済における企業の資金調達行動:カンボジア大規模アンケート調査」（相場大樹と共同論文）日本金融学会（東北大学，2015年10月24日）

"Banking in Dollarization: A Comparative Study of Cambodia, Laos, and Vietnam," 国際開発学会（新潟大学，2015年11月29日）

"Determinants of Caoutak Structure of Cambodian Firms: Firms' Fund Raising Behavior in Highly Dollarized Emerging Markets," (joint paper with Daiju Aiba), The 15th International Convention of the East Asian Economic Association, Bandung, November 5, 2016

"Management Characteristics of Cambodian Microfinance Institutions: Operational Efficiency and Management Objectives," (joint paper with Shi Minjie), The 3rd National Bank of Cambodia Macroeconomic Conference, Phnom Penh, November 25, 2016

（b）国内研究プロジェクト

「カンボジア銀行業の経営特性と経営効率：銀行部門整備への政策課題」科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），2013 – 2015 年度，研究代表

「インドシナ諸国の脱ドル化の課題と展望」アジア経済研究所 2015 – 2016 年度，研究分担者（研究代表者：久保公二）

「ドル化経済における企業の資本構成：カンボジア大規模アンケート調査の分析」科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金），基盤研究（C），2016 – 2018 年度，研究代表

（d）研究集会オーガナイズ

East Asian Economic Association, October 18 - 20 2012, Grand Copthorne Waterfront Hotel, Singapore

East Asian Economic Association, November 2 - 3 2014, Chulalongkorn University, Bangkok,

日本金融学会，2010 年 5 月 15 – 16 日，中央大学

日本金融学会，2013 年 5 月 25 – 26 日，一橋大学

日本金融学会，2015 年 10 月 24 – 25 日，東北大学

6. 学内行政

（a）役員・部局長・評議員等

役員補佐（社会連携担当）（2010 年 12 月 – 2012 年 11 月）

（b）学内委員会

国際交流委員会（2010 年 4 月 – 2014 年 3 月）

附属図書館（2010 年 12 月 – 2012 年 11 月）

7. 学外活動

（a）他大学講師等

青山学院大学国際政治経済学部，非常勤講師，開発金融論，2008 – 2016 年度

（b）所属学会および学術活動

The East Asian Economic Association（2005 年より学会誌 Associate editor，fellow）

日本金融学会（2014 年より英文学会誌編集委員）

アジア政経学会

国際開発学会

日本経済学会

（c）公開講座･開放講座

「東南アジア主要銀行の経営効率の変化と外資系銀行の特徴」，吉林大学･一橋大学共同シンポジウム「東アジア経済発展のチャンスとチャレンジ」，（吉林大学，2014 年 9 月 22 日）

「ドル化経済における企業の資金調達：カンボジア大規模アンケート調査による分析」，一橋大学･一橋大学共同シンポジウム「世界金融危機後のアジアの通貨･金融問題」，（吉林大学，2015 年 11 月 6 日）

「東アジアの銀行業：変遷と展望」，一橋大学･日本政策投資銀行共同シンポジウム「アジアの世紀における日本：経済再生とビジネスチャンス」，（吉林大学，2015 年 11 月 18 日）

（d）その他

アジア開発銀行･国際協力事業団「ADB-JICA セミナー：アセアン債券市場整備」講師，2007 － 2012 年度。

国際協力機構「NIS 金融システム安定化政策および改革戦略」講師，2009 － 2013 年度。

国際協力機構「南部アフリカ地域開発金融機関の為のプロジェクトバリューチェーンの強化」講師，2014 年度－2016 年度。

大平正芳記念財団大平賞選考委員，2009 － 2016 年度。

財務省財務総合政策研究所「財政経済セミナー」講師，2013 年 5 月

財務省「アジア諸国との金融協力等に関する専門部会」講師，2014 年 4 月

8. 官公庁等各種審議会･委員会等における活動

財務省「関税･外国為替等審議会」委員（2010 年 1 月 － 2017 年 3 月）

金融庁「公認会計士試験委員会」委員（2017 年 1 月 － 2017 年 11 月）

9. 一般的言論活動

「どうして貧困なのか？制度の問題として捉えよう」，『教養としての経済学』，有斐閣，2013 年 2 月，36-43 頁。